

【結果】

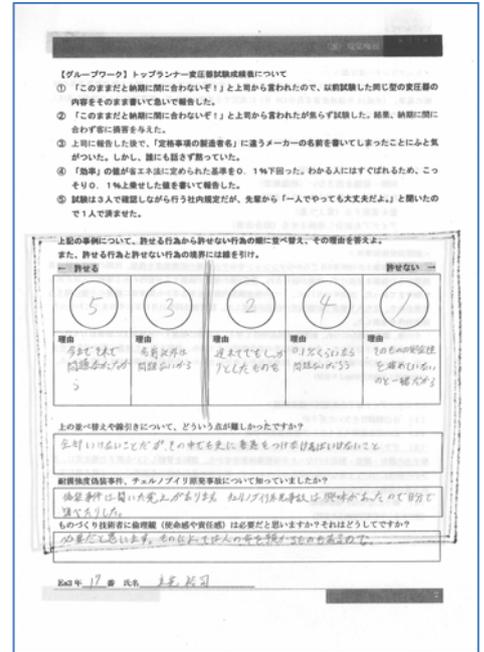
◎事例の並べ替え・線引き

| | | | | |
|----------|----------|----------|-------|----------|
| 1班 | 2班 | 3班 | 4班 | 5班 |
| ⑤① ②④③ | ②⑤④ ①③ | ⑤③ ②④① | ⑤③②①④ | ⑤① ④③② |

※教師が考えていたもの → ② | ⑤③①④

(まとめ)

- ・偽装 (①) と納期遅れ (②) で、②の方を許せないとしたグループが2つ (5グループ中) あった。偽装 (①) を問題ないとするグループがあった。名前のミス (③) とデータのミス (④) で、③の方が許せないとするグループが3つ (5グループ中) あった。
- ・事故を起こす可能性があるか、客に損害を与えるか、嘘をついたか、楽をしようとしたか、で考える生徒がいた。
- ・偽装 (①) の先を見通し、いつかばれるとしたグループがあった。報告しないと後から余計大変なことになると予想するグループがあった。報告書を何人かでチェックする仕組みにした方がよい、と考えるグループがあった。



◎質問の回答 (記名形式)

※ 以下3つ全ての質問に無回答の生徒8名。

Q1:

- ・すべて悪いことだと感じ、順番をつけるのが大変だった。(8名) ④と①が同じ感じ。(2名)
- ・それぞれ色々な危険性があるため良い悪いの判断が難しかった。人それぞれ考えていることは違って、理由を伝えることが難しかった。
- ・経験が無く、深く理解が出来ずに書いた。
- ・特に難しいとは思わなかった。

Q2:

耐震偽装: 知っていた8、 少しだけ5、 知らなかった4 (17人中)
 チェルノ: 知っていた9、 少しだけ4、 知らなかった4 (17人中)

- ・東日本大震災の福島原発の時にチェルノブイリのことを知った。チェルノブイリの方はとても強く覚えている。チェルノブイリ原発事故は興味があったので自分で調べたりした。
- ・チェルノブイリは人間のミスが原因であるかもしれないことを知った。
- ・2歳の頃のことなので覚えていない。

Q3:

必要15、 必要ない0 (15人中)

- ・人が作ったものによって命に関わることがあるから。(3名) 事故が起こると大変だ。
- ・必要でなければ全てのものが適当に作られてしまう。責任感をしっかりと持たなければ製品を作る上で小さい間違いを見逃してしまう。
- ・倫理観がないと仕事にならない。(2名) 倫理観がなければ仕事をしていくにつれて無責任になる。その会社の看板を背負って戦うため。ものづくりは客との信頼が大事。技術者だから。
- ・倫理は生活していく上で知っていなければいけない。

◎後日、以下の質問に対する回答（無記名形式）

Q1：どうして金城先生や川端は倫理観について考えさせることを授業中に何度となくすると思いますか？

- A.
- ・社会に出てから必要だから。(6名) 社会人としての常識や品格を身につけさせるため。もう少しすると社会人になるので、社会人のルールなどを理解してほしいから。社会を知るため。これから社会に出て実際に体験する可能性があるため。就職したら皆にも関わってくるかもしれないから。私たちはすぐに社会に出る。進学する普通高校の生徒より高い倫理観をもつべきだから。自分の考えや責任感がない技術者になってほしくないから。社会に出ていく上で必要最低限のことだから。
 - ・生徒のため。(2名) 倫理観を持っていないと苦労するから。大事だから。(2名) 大事なことは何か気付けてほしいから。
 - ・教科書では学べないことだから。良い事悪い事の区別をあらためて考えさせるため。
 - ・正直わからない。なんとなくわかるのは将来のためにいろいろなことをわかってほしいから。
 - ・無回答1名

Q2：今後もグループで話し合う時間を授業に取り入れて欲しいですか？その理由は？

- A.
- ①欲しい(20/25名)
- ・色々な考えを知ることができる。(5名) 人によって考え方が違って興味がわく。別の視点の考えが大事。良い経験になる。
 - ・自分の意見を言える場だから。自分の意見を考える練習になるから。
 - ・3年間同じクラスで慣れている人たちだけど、グループで一つのことに對して話し合うことで相手の考え方を理解することが出来るし、協調性が身につく。
 - ・他人の意見を聞くと自分のためになるような気がしたから。(2名) 話し合いをすることで色々と深まる。
 - ・話し合いをすることは大切なので鍛えておきたい。人と意見をぶつけ合う機会を作って欲しい。人と成長できると思う。自分の意見を持つのは大事。
 - ・楽しいから。(2名)
- ②いらぬ(3/25名)
- ・理由は特になぬ。
 - ・無駄な話が増えそう。
 - ・やる気のない人や違う話をする人、話し合いに参加しない人が多いから。
- ③どちらでもよい(1/25名)
- ・無回答2名

【分析】

○曖昧事例の並べ替え

1. 事例の設定を理解できない生徒がいた。(模造紙に図を書くなど、事例の場면을イメージしやすくする工夫をすれば良かった。)
2. 似たような事例の順番付けに悩む生徒が多くいた。(多いに考えさせたいとわざと同じようなレベルの事例を作ったつもりだが悩ませるところを間違ったか。明らかに許せる事例と許せない事例を作り、そこからはずれた応えを出す生徒について分析の方が有意義だったのでは。)
3. あらゆる角度から一つのことを考えられる生徒がいた。

○グループ活動

1. 普段口数の多い生徒が静かで、決して目立つ方ではない生徒が生き生きした表情を見せ話し合いを盛り上げる存在になっていた。(真のコミュニケーション能力はこういう場面で明らかになる。真面目な場面で発言できるか、がよじつにわかる。)
2. 就職が決まっていない生徒は、積極的に関わることがやはりできていない。
3. 成績上位者でも自分の意見をはっきり発言できない生徒がいた。(就職してから心配。)反面、下位者でも司会に立候補したり発表者にまわったり積極的に関わる生徒がいた。(成績にコミュニケーション能力は関係ないのか。)
4. 自分の意見を人に伝えることの難しさを感じる生徒がいた。

○生徒の倫理観

1. 授業に主体的に参加した生徒は技術者としての倫理観が高い回答をした。(他の生徒の倫理観を高めることはできたか。)
2. 曖昧事例の並べ替え結果はグループ毎になり、個別の考え・回答が見えなかった。(個別の分析ができなかった。)
3. 昨年の福島原発事故に影響を受けた生徒がいる。
4. 倫理観に関わる事件について、古い話と感じた生徒がいる。(生徒が覚えているはずの最近の事件を探し取り上げるべきだったか。)

◎全体を通して

第一に、教師がもっとこの授業実践の目的を理解してゴールを明確にして臨むべきだったと反省している。(生徒にどういう気づきをさせたいのか、どういう変化を期待するのか、よく考えて準備することができなかった。いつもと違う授業をいきなりバタバタとされたため、落ち着いた話し合いをせずほぼ私語だけで終わってしまうグループが現れ、質問に無回答の生徒が出てしまったのだろう。)

しかし、今回の授業は、普段と違うことで少なからず生徒には刺激になり、いつもとは違うことを考え感じる機会になったことも後の無記名アンケートからわかった。教師にとってはグループ活動から真のコミュニケーション能力があるなしを見極めることができ、大きい成果である。曖昧事例を考えることで倫理観が高まり、言語活動でコミュニケーション能力が高まる今回のような授業は大いに意義があることも今はよくわかる。このような取り組みを自然に年度初めから授業に取り入れることができるようになりたいと思う。